

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
福岡市	吉岐地区	令和4年3月30日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	68ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	68ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	32ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	19ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	5ha
(備考) ・ 水稲・軟弱野菜の生産が活発に行われている。 ・ 地域内の大部分は市街化区域であり、高齢化の進行と市街化区域の開発により農地が減少しているが、担い手を中心に農地の利用集積の取組みが進められている。 ・ JAの直売所を有しており周辺農家からの出荷が多い。また、市街地に近いという立地を活かし、市民との交流促進や観光農園・体験農園などの取組みが行われている。	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none">・ 市街化区域内農地の開発による農地減少が予想される。・ 各組織において、役員及び参加者の固定化が見られ、組織体制の再検討が必要と考えられる。・ 生産者減少による不耕作地の恐れがある。・ 多様な野菜を生産しているが、特に産地として際立った品目がない。少量多品目生産に対し、有利販売できる体制がない。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none">・ 吉岐受託組合と中核農家にて集積・集約化する

4 3の方針を実現するために必要な取組みに関する方針

<ul style="list-style-type: none">・ 消費地に近いという立地を生かし、市民との交流促進や観光農園・体験農園などの取組みを支援する。・ 新規就農者確保に向けた取組みを進める。
--

(参考) 農地の貸し付け等の意向

	農地の所在 (地番)	貸付け等の区分 (㎡)		
		貸付	作業委託	売渡
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
	計	0	0	0

(参考) 中心経営体

属性	現状		今後の農地の引き受け意向		
	経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	施設野菜、その他	0.9ha	施設野菜、その他	1.1ha	沓岐
認農	露地野菜	1.1ha	露地野菜	1.7ha	沓岐
認農	複合経営	5.7ha	複合経営	7.0ha	沓岐
認農	複合経営	4.1ha	複合経営	5.0ha	沓岐
認農	水稲、露地野菜	1.1ha	水稲、露地野菜	1.1ha	沓岐
認農	水稲	1.0ha	水稲	1.0ha	沓岐
認農	複合経営	11.6ha	複合経営	12.8ha	沓岐
認農	肉用牛	1.3ha	肉用牛	2.0ha	沓岐
安経	水稲、露地野菜	0.1ha	水稲、露地野菜	0.1ha	沓岐
安経	水稲	0.0ha	水稲	0.0ha	沓岐
安経	水稲	2.7ha	水稲	2.7ha	沓岐
安経	水稲	0.8ha	水稲	0.8ha	沓岐
安経	施設野菜、水稲	0.5ha	施設野菜、水稲	0.5ha	沓岐
安経	水稲、露地野菜	1.3ha	水稲、露地野菜	1.3ha	沓岐
安経	水稲	0.6ha	水稲	0.6ha	沓岐
安経	水稲、露地野菜	1.0ha	水稲、露地野菜	1.0ha	沓岐
安経	水稲	0.2ha	水稲	0.2ha	沓岐
安経	水稲	0.0ha	水稲	0.0ha	沓岐
安経	水稲、露地野菜	0.0ha	水稲、露地野菜	0.0ha	沓岐
計		33.9ha		38.8ha	

注) 属性欄の「認農」は個人の認定農業者、「認農法」は法人の認定農業者、「認就」は認定新規就農者、「安経」は安定的な農業経営者、「受組」は受託組織を示しています。